



ジェルコンS

— 土・砂利・砂・アスファルト —
地面に対応する清掃不要簡単プライマー

フェルコンSは様々な場所に適応する簡単プライマー

フェルコンSは幅広く土・砂利・砂・アスファルト面に対して使用出来るプライマーです。改修工事の現場では経年変化・破損・飛散した砂など各現場によって撤去や入念な清掃が必要になりますが、フェルコンSは塗布するだけで既存のアスファルトシートを再利用するのでコストダウンに加え環境に配慮した特殊プライマーです。



塗布前



塗布後



塗布後3ヶ月経過

乾燥している土の上にそのままフェルコンSをジョーロで散布 (0.35 kg/m² 使用)
※ 施工面が土・砂・埃・苔の場合や施工面が劣化している事を想定
降雨翌日でも施工箇所のみ防水効果が確認でき
しかも砂の形状を変わず固めているため清掃なしで施工が可能

特徴

- 施工面にある砂・苔・金属・ゴミもすべて固めてしまうので清掃が不要
- 一液性なので施工が簡単
- 撒いて伸ばすだけなのでウールローラー・エアレス・ジョーロなどで施工が可能
- アスファルトを溶解するのでクラックに入り込み簡易防水効果あり

用途

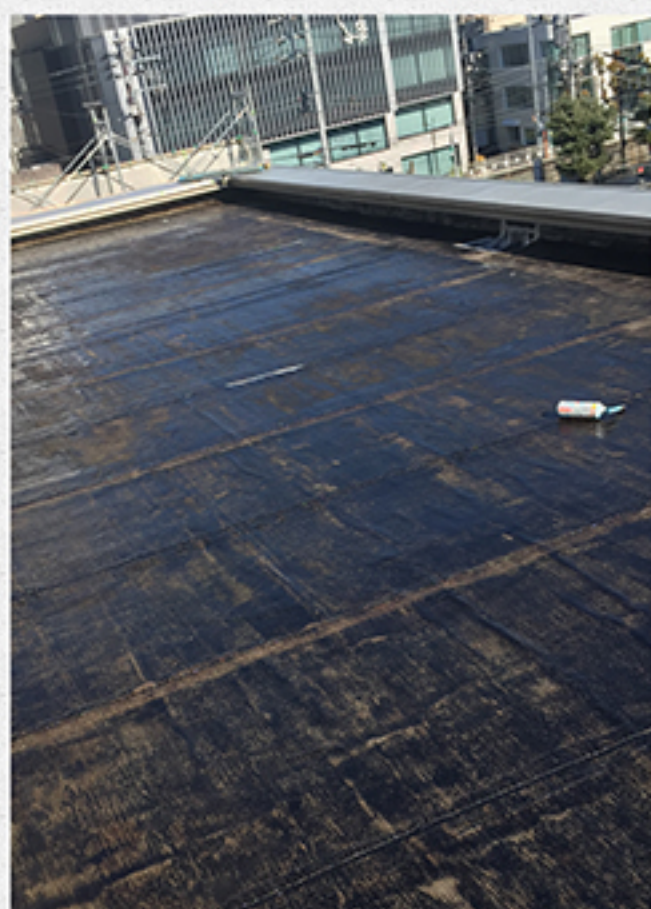
- アスファルトシート面の防水改修工事
- 砂付きアスファルトシート面の改修工事
- アスファルトシート面の不陸調整
- 残存アスファルトとコンクリート面の不陸調整
- 舗装アスファルト面のプライマー
- 古いスレート板の塗装用プライマー
- コンクリートの簡易的なクラック補修(流し込んでセメント粉を撒いて処理)

施工要領

- 大きな破れ・欠損部分はあらかじめシールなどで処理してください
- 仕上げに問題が生じる大きなゴミは除去してください
(不陸が生じない砂などは固めてしまうので無視して大丈夫です)
- 現場に応じて、撒いてウールローラーで伸ばすかエアレスで施工
吸い込みが多い所はジョーロで撒きます
- アクリル・エポキシ・FRPなどは各メーカーのプライマーから施工してください
モルタルなどで不陸調整する場合は弊社製品P-IIを使用後施工してください

【養生】(25℃時):24~168時間=使用量により変動あり

【フィルムS施工風景】 アスファルトシート上施工 → ウルタン施工



施工上の注意

二液性ウレタン防水材はプライマーなしで施工可能
その他はメーカー指定のプライマーから施工してください

塗布量・標準施工面積

標準塗布量: 250 g/m²

標準施工面積: 12 m²/3 kg缶

: 60 m²/15 kg缶

(下地状態により大幅に変動する場合あり)

容量

3 kg 入 / 15 kg 入





フェルコンS 物性・性能データ

成分	ビニールエステル樹脂・ポリプロピレン酸ビニール樹脂
外観	淡黄色透明
粘度	400~450 c Pa·s (25℃)
乾燥時間	24~120 時間 (25℃)
上塗可能時間	24~168 時間 (25℃)

試験項目	試験条件	
耐水性	水道水3ヶ月漬込	○
耐塩水性	3%食塩水3ヶ月漬込	○
耐硫酸性	10%希硫酸3ヶ月漬込	○
耐苛性ソーダ性	10%水溶液3ヶ月漬込	○

試験項目	試験条件	
耐候性	Ska-UV-A-255w/m ² 100h	○
耐油性	マシン油6ヶ月漬込	○
耐溶剤性	トルオール3ヶ月漬込	○
耐溶剤性	アセトン3ヶ月漬込	○

● 下地密着性

試験項目		試験項目	
アスファルトシート	○	RCコンクリート	○
砂付アスファルトシート	○	モルタル	○
舗装用アスファルト面	○	合板	○
スレート板	○	金属	○
ケイカル板	○	旧塗膜	△ ※1
砂面	○	ポリプロピレン	×
土面	○	ポリエチレン	×
砂利面	○	ゴムシート	×

● フェルコンS との密着性

試験項目		試験項目	
一液性ウレタン防水材	○ ※2	水性塗料	○ ※2
二液性ウレタン防水材	○	油性塗料	○
アスファルトシート	△ ※3	モルタル	○ ※4
シート防水	○	顆粒ゴム	○ ※2
FRP防水	○ ※2	エポキシ	○ ※2

- ※1 水性塗料は膨潤の恐れあり、脆弱塗膜は除去してください
- ※2 各社推奨のプライマーが必要
- ※3 冷工法は可能、トーチ工法は不可
- ※4 弊社製品P-IIを使用後施工

取扱上の注意

保管温度は5℃以上40℃以下で保管してください
 直射日光を避けて、常温で保管してください
 落下・破損がないように、荷崩れ防止等の配慮をしてください
 河川・側溝などに絶対に破棄せず、産業廃棄物として各自治体の規定に沿って処分してください

安全上の注意

目・皮膚などの接触を防止するために、保護めがね・保護手袋など着用してください
 目に入った場合は、清水で数分間洗浄し直ちに医師の診断を受けてください
 皮膚に付着した場合肌荒れを起こす事がありますので直ちに水洗いをしてください
 誤って飲み込んだ場合は多量の水を飲み吐き出した後、直ちに医師の診断を受けてください

詳細な内容につきましては製品安全データシート(SDS)をご参照ください
 記載内容は製品改良などにより、断りなく仕様変更をする場合がありますのでご了承ください

